

小学校算数科

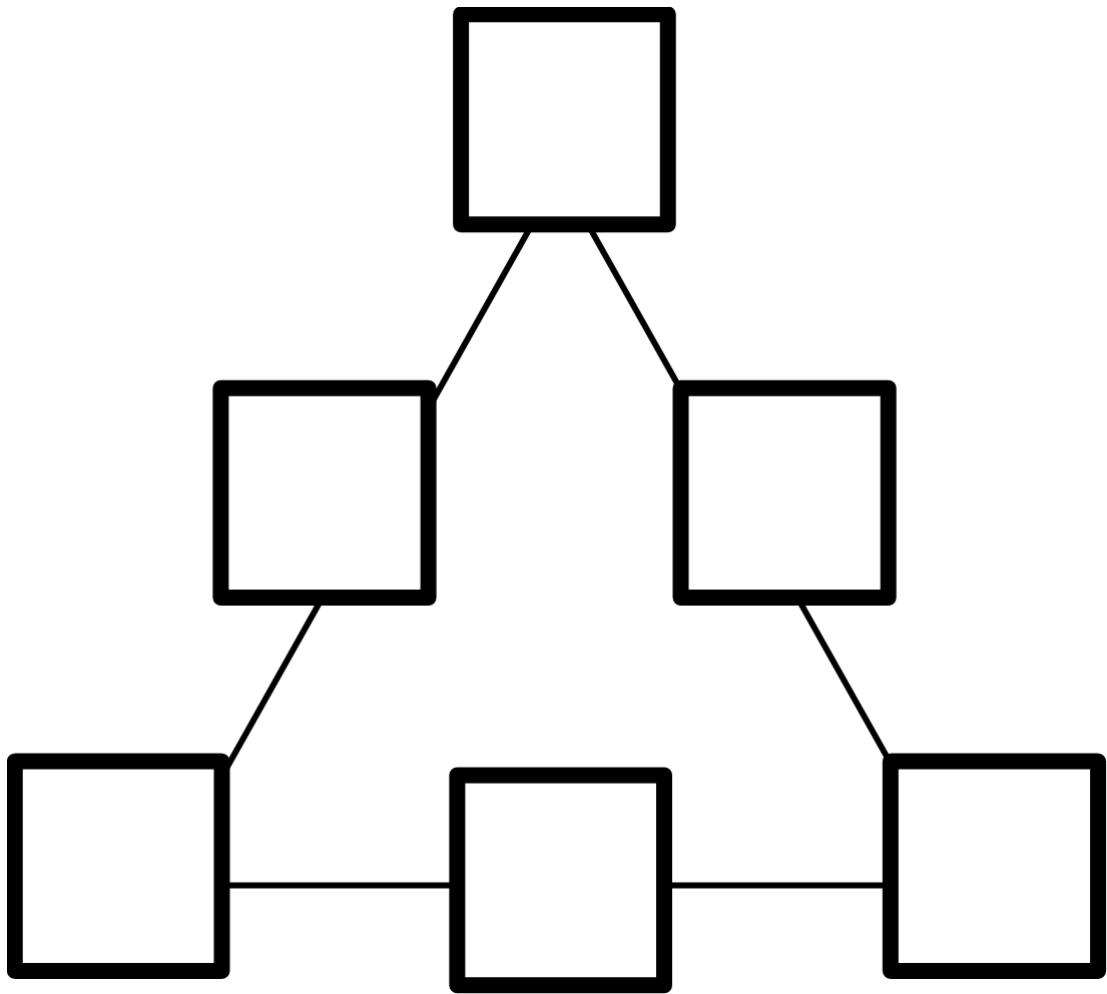
たしざん・ひきざん 計算パズル 第2～6学年

【じゅんび】 1～6の数カードをきりとりましょう。

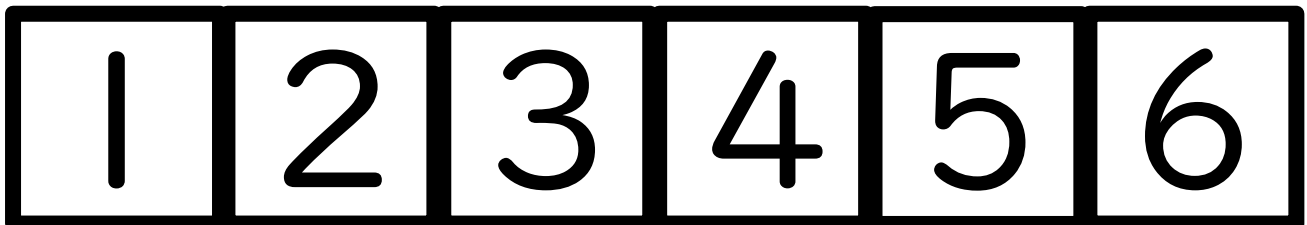
【計算パズルのルール】

□の中に1つずつカードをおきます。

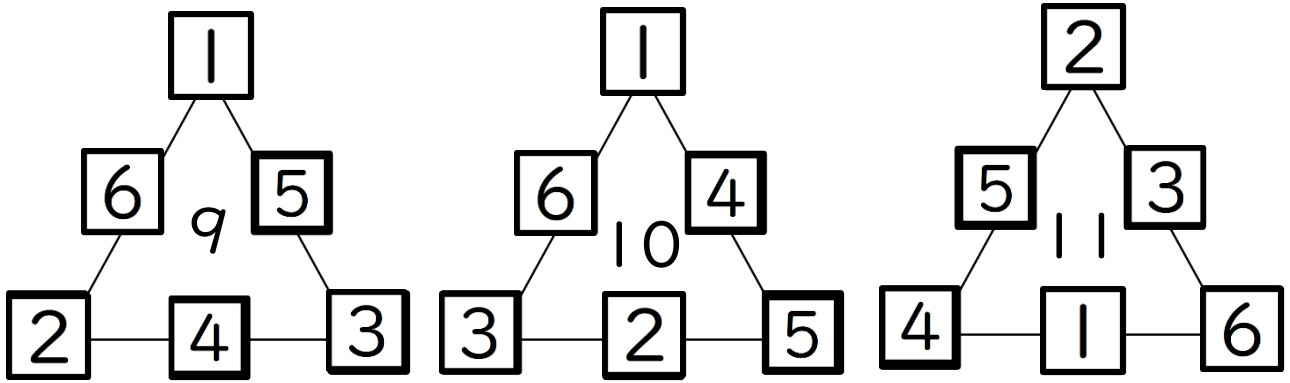
辺の上の3つの数をたした答えがどの辺も同じになるようにならべます。



💡 4年生以上のみなさんは、「きまり」を見付けておきかたを考えられるとよいです。



💡つぎのようなカードのおきかたがあります。



💡4年生以上みなさん、きまりは見付かりましたか？

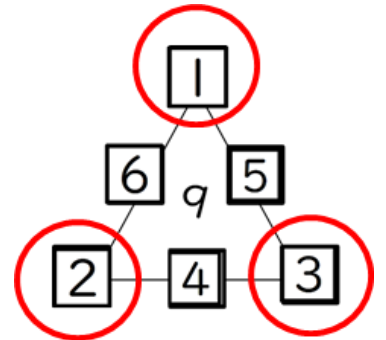
辺の上の3つの数をたした答えがどの辺も「9」になるならばかたで考えてみましょう。

どの辺も「9」になるということは、3つの辺をすべてたすと

$9 + 9 + 9 = 27$ で合計は27になるはずです。

1から6までの数をすべてたすと、 $1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 = 21$ なので、 $27 - 21 = 6$ で、6たりません。

三角形の頂点（○でかこんだところ）の□に入れた数は2度たされるので、この部分の合計が「6」になるように数をおけばよいということになります。



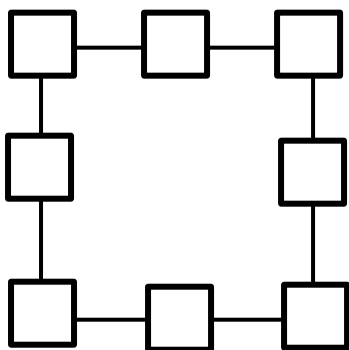
「10」や「11」のときはどうなるか、考えてみましょう。

💡1つの辺の3つの数をたすと、「9」「10」「11」になるおきかたは見付かりましたね。

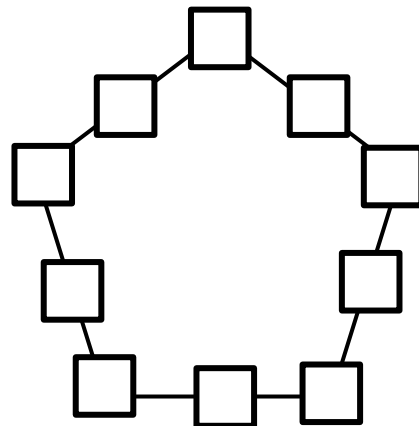
答えが「7」や「8」、「12」や「13」になるおきかたはないのでしょうか？

あるならばどのようなならば方か、ないならば「なぜ、できないのか？」考えましょう。

💡□の数をふやしたり、形を変えたりと自分で問題をつくって取り組んでみましょう。



(7~14で考えよう)



(15~24で考えよう)